あさまる通信

第56号　3月

発　行：習志野販売株式会社
〒275－0016
千葉県習志野市津田沼 5-11-10 吉田ビル 3F
TEL　047-454-2355　FAX　047-454-2357
URL　http://www.asamaru.com
e-mail　info@asamaru.com

あさまる通信は、毎月25日発行です。

◆はじめてのボランティア体験講座

2月5日（日）と16日（木）に、習志野市総合福祉センターで「はじめてのボランティア体験講座」が行われました。これは習志野市ボランティアセンターが、ボランティアに参加する上での基礎知識の講義や、実技を経験してもらう為に開いたのです。ボランティアセンターでは年4回程、「福祉車両の運転」などその時のニーズに合わせて講座を行っています。今回の参加者は29歳から80歳までの17人です。「将来の為に勉強になれば」と思って参加した人が多いようです。誰にとっても身近な問題となってきているのでしょう。

5日は基礎知識や車イスの扱い方などの体験が行われました。まず、入門ビデオで全国の活動例を見て、障害者の人から「私達を理解して、やって貰いたい事、困っている事を知り、一緒に頑張りましょう」というメッセージを受けました。続いて、ボランティアセンターの長尾さんからボランティアについての説明です。ボランティアを受ける対象となる人は、障害者や高齢者だけではなく、その子供や家族、外国人などさまざまです。「ボランティア」とは自分の意思で、やれることを「したい」と思った時にすることです。する人受ける人が対等な立場でいなければなりません。押し付けや義務と思ってもいけないなどの説明がありました。

また、受ける人との約束は必ず守るが、自分のプライベートに支障をきたさないようにするという事などの注意がありました。

次は車イス体験です。2人1組となり車イスの扱い方から始まり、体勢の起こし方など説明を受けました。そして実際に車イスで、福祉センターの周りを1周します。外に出て車イスを押してみると、たった3㎝くらいの段差でも上げられなかったり、溝にはまったりとうまくいきません。乗っている人も普段は気にしていないアスファルトの凹凸や、芝、砂利道などでかなり振動を感じたようです。また、座ると目線が低くなるので、障害物などにぶつかる様な気がして、不安を覚え敏感になるようです。「シートベルトが欲しいわ」という女性もいて、その不安定さが窺えました。

昼食をはさんで、午後は地域活動などに関する講義がありました。習志野市社会福祉協議会は地域の住民組織であるので、ボランティアの活動にあたっては、各地区の支部や社会福祉グループに登録して欲しいなどの内容でした。

最後に高齢者擬似体験です。高齢者と同じ状況になるように、体に関節を固定するサポーターやおもり、白内障の状態を再現した眼鏡、音が聞こえづらくなるイヤーパットをつけます。そして色紙に書かれている文字を見たり、階段の上り下り、文字を書く事などに挑戦しました。介助役の人に支えられながら、なんとか行動します。終わってから装備をはずすと一様にため息や、安堵の息がもれました。予想以上に不自由さがあったようです。「高齢者の不自由さがわかった」「これからは母に優しく接しようと思う」など、それぞれに感想がありました。

16日は高齢者や障害者、児童の5つの施設に分かれて、ボランティアに参加しました。みんな5日に勉強した事を生かして、行動もスムーズになったようです。ボランティア活動がもっと広がり、住みやすく、人に優しい町が作られる事を期待されます。

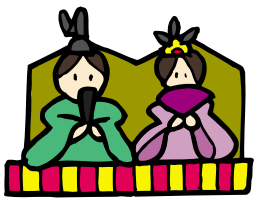
福祉サービス等の相談・問い合わせ先　習志野市ボランティアセンター　電話（451）7899

◆雛祭り

♪♪灯りをつけましょ雪洞に、お花をあげましょ桃の花♪

近頃はお正月頃からCMで聞かれるようになりましたね。

雛祭りの始まりをひもといてみましょう。平安時代には上巳の節句といい、禊の行事で祈祷され人形供物を水に流す「雛流し」が行われていたようです。「上巳」とは旧暦3月の上旬の巳の日という意味で、古代中国の魏の時代より巳の日はけがれを払い清める招魂（死者の魂を招きかえすこと）の意味が、日本独特の祓えの思想と結びつき伝わったものです。源氏物語などでは「ひいな遊び」といって上流階級の「おままごと」としての紙人形が登場します。室町時代になると「雛流し」で流していた人形も「飾り雛」として作られるようになり、平安時代の宮廷を模した雛人形になっていきました。現在のように変化した大きな要因は、江戸幕府が女子の節句として定めたからでしょう。大奥では姫が誕生すると、雛人形が贈られる風習が生まれました。女の子の誕生を祝い、健やかで幸せな人生を願うという方向に変わったようです。銀座や人形町で雛市なども盛んになり、しだいに民衆へも浸透していきました。



余談ですが「雛人形を早く片付けないと晩婚になる」といわれています。「上巳の節句の頃の名残りで、いつまでもけがれを身近においてはいけない」という説と「節句の人形を出しっぱなしにするのは、だらしない女性だから嫁に行けない」という説など色々あるようです。結婚願望が強い女性は、片付けるのを忘れないように…。

あさまるinfo

✹第19回谷津公民館チャリティバザー
日　時：3月4日（土）午後1時～3時
場　所：谷津公民館
内　容：チャリティーバザー、風船おじさんと遊ぼう、本の読み聞かせのへや、パウンドケーキ販売、花の実園の鉢物販売
問い合わせ先　谷津公民館　電話　047-452-1509

✹第13回生涯学習フェスティバル
日　時：3月11日（土）午前10時～午後1時
場　所：新習志野公民館
内　容：伝統芸能のお囃子によるオープニング、保育所・小学校の子どもたちによる元気いっぱいの踊り、公民館サークルによる演奏、チャリティバザー、各種模擬店など

✹あんばさま
日　時：3月12日（日）午後1時～
場　所：菊田神社
内　容：神輿を担ぎたい子、山車を引きたい子は神社に集合だ‼

✹習志野第一中学校　管弦楽部定期演奏会
日　時：3月21日（火・祝）開場 / 午後1時　開演 / 午後1時30分
場　所：習志野文化ホール（ＪＲ津田沼駅南口）　入場無料
出　演：習志野第一中学校　管弦楽部
曲　目：喜歌劇「天国と地獄」序曲　オッフェンバック作曲
交響曲　第9番「新世界より」ドボルザーク作曲　ほか
問い合わせ先：習志野第一中学校　寺嶋　電話　047-472-6165

✹新習志野駅前商店会「駅前フリーマーケット」出店者募集
日　時：3月26日（日）午前10時～午後4時（雨天中止）
場　所：新習志野駅前メルクス新習志野モール内
募集数：45区画（応募者多数の場合は抽選となります）
出店料：2,000円（1区画：2.5ｍ× 2ｍ）
駐車場1台500円（メルクス新習志野駐車場の指定場所を利用）
申込先：習志野市商店会連合会「新習志野駅前フリーマーケット係」
〒275-0016　習志野市津田沼5-12-12 サンロードビル6階
電話　047-455-1955
申込方法：往復ハガキに住所・氏名・電話番号・FAX・主な出品物を明記の上、上記申込先まで郵送下さい。
締切日：3月15日（水）必着